

ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)

<5650>

追加型投信／海外／株式
日経新聞掲載名：英高配株ツα

第77期	2020年12月17日決算	第80期	2021年3月17日決算
第78期	2021年1月18日決算	第81期	2021年4月19日決算
第79期	2021年2月17日決算	第82期	2021年5月17日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、相対的に配当利回りの高い英国の株式等へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第82期末	基準価額	2,490円
	純資産総額	842百万円
第77期～第82期	騰落率	22.1%
	分配金合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

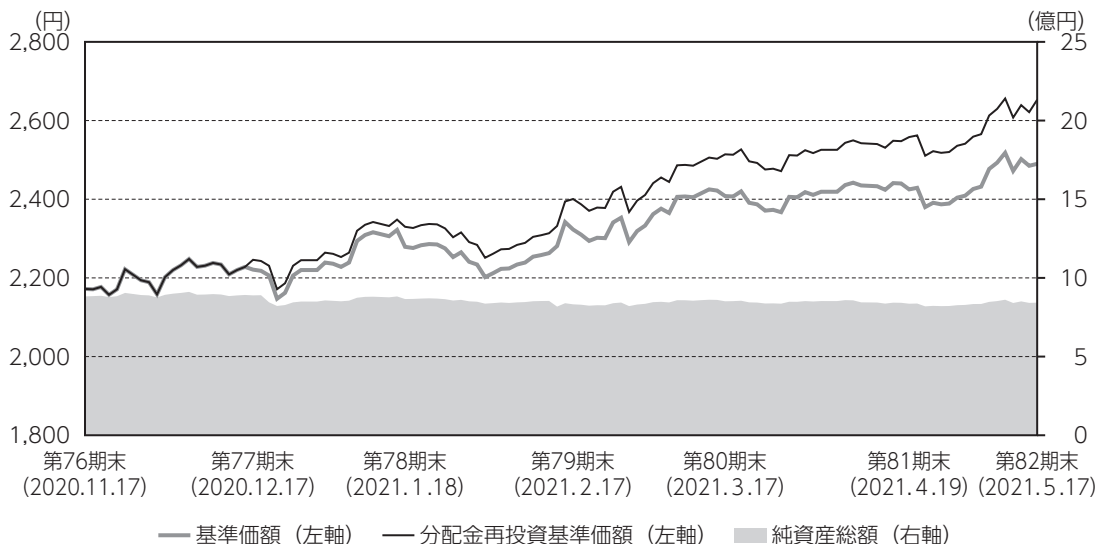
◇TKU0565020210517◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第77期首：2,172円

第82期末：2,490円（既払分配金150円）

騰落率：22.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

英国株式市況は、米国の政治的先行き不透明感の後退や景気回復期待の高まりなどにより上昇しました。また英ポンドは、金利上昇や株高などを背景とした投資家心理の改善などを受けて対円で上昇（円安）しました。これらの結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第77期～第82期 (2020.11.18～2021.5.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	15円	0.664%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,322円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.048	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(1)	(0.048)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	17	0.714	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

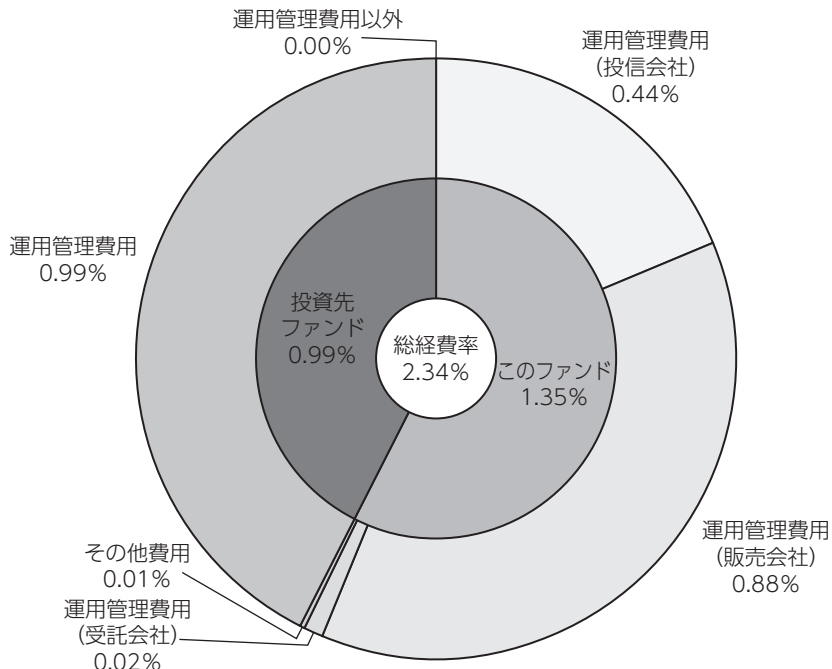
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.34%です。



総経費率 (①+②+③)	2.34%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.99%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

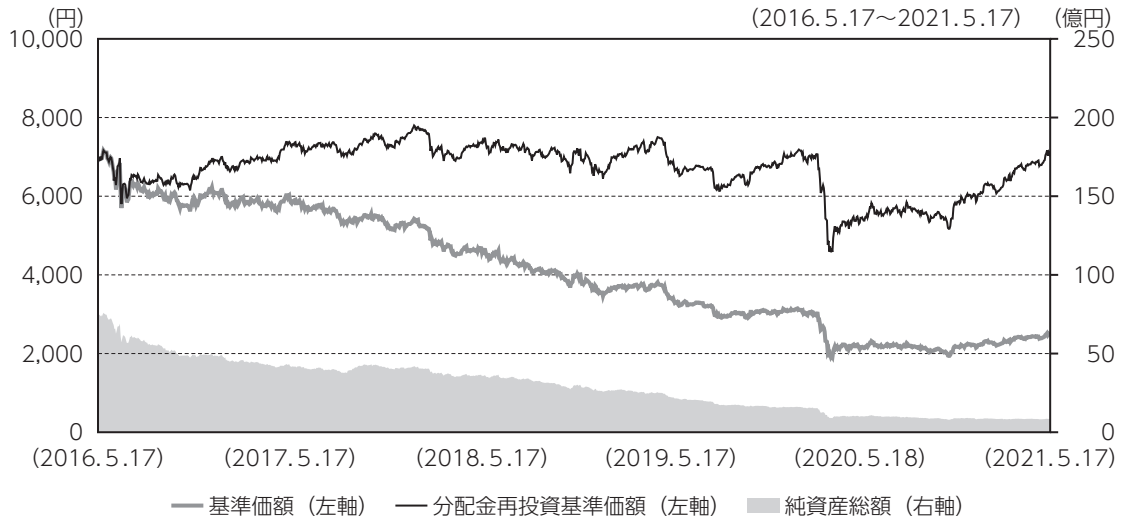
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



	2016年5月17日 期初	2017年5月17日 決算日	2018年5月17日 決算日	2019年5月17日 決算日	2020年5月18日 決算日	2021年5月17日 決算日
基準価額 (円)	6,893	5,894	4,560	3,403	2,116	2,490
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,320	1,320	895	600	300
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.7	△0.1	△6.3	△22.7	34.3
MSCI英国指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	17.7	9.6	△6.4	△25.4	48.4
英ポンド為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△7.6	2.7	△5.9	△7.8	19.0
純資産総額 (百万円)	7,380	4,205	3,550	2,220	987	842

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI英国指数 (配当込み、円換算) および英ポンド為替レート (対円) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) MSCI英国指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCI英国指数 (配当込み、英ポンドベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI英国指数 (配当込み、英ポンドベース) は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注6) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2020.11.18~2021.5.17)

■英国株式市況

英国株式市況は上昇しました。

英国株式市況は、当作成期首から2020年末にかけて、米国の大統領選挙で民主党のバイデン候補が勝利を確実にし、米国政治をめぐる先行き不透明感が後退したとの見方や米国の追加経済対策への期待などを受けて上昇しました。しかし2021年1月は、行動制限の長期化による景気悪化やEU（欧州連合）での新型コロナウイルスのワクチン供給への懸念などを背景に、軟調な局面が見られました。当作成期末にかけては、米国で1.9兆米ドル規模の追加経済対策が成立し、景気回復への期待が高まったことなどが支援材料となり、上昇しました。

■為替相場

英ポンドは対円で上昇しました。

英ポンドの対円為替相場は、経済活動の正常化や景気回復期待の高まりによる金利上昇、株高による投資家心理の改善などを背景に上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）の組入比率を高位に維持し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

※ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）

■ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）

相対的に配当利回りの高い英国の株式等への投資と株式等および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.11.18~2021.5.17)

当ファンド

当ファンドは、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド (ツインαクラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド (ツインαクラス) を通じて、相対的に配当利回りの高い英国の株式等への投資と株式等および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド (ツインαクラス)

相対的に配当利回りの高い英国の株式等への投資と株式等および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

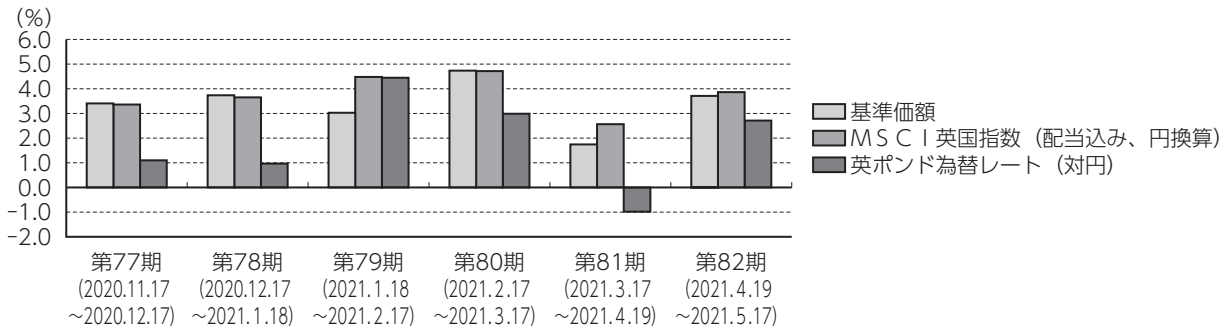
ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2020年11月18日 ～2020年12月17日	2020年12月18日 ～2021年1月18日	2021年1月19日 ～2021年2月17日	2021年2月18日 ～2021年3月17日	2021年3月18日 ～2021年4月19日	2021年4月20日 ～2021年5月17日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率（%）	1.11	1.09	1.06	1.03	1.02	0.99
当期の収益（円）	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	955	982	1,004	1,028	1,057	1,076

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 46.33円	✓ 51.78円	✓ 47.03円	✓ 49.21円	✓ 53.76円	✓ 43.64円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	634.56	635.49	636.48	637.55	638.69	640.80
(d) 分配準備積立金	299.94	320.34	346.14	367.11	390.20	416.87
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	980.83	1,007.62	1,029.66	1,053.89	1,082.67	1,101.32
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	955.83	982.62	1,004.66	1,028.89	1,057.67	1,076.32

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）の組入比率を高位に維持し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

■ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）

相対的に配当利回りの高い英国の株式等への投資と株式等および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

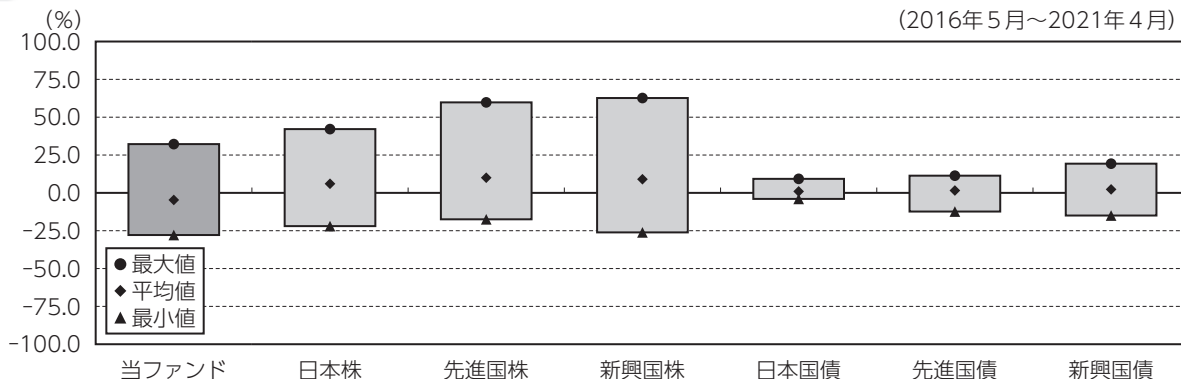


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2014年5月30日～2024年5月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）」（以下「ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	<p>①主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）の受益証券を通じて、相対的に配当利回りの高い英国の株式等（※）への投資と株式等および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。</p> <p>（※）不動産投資信託証券を含みます。</p> <p>②当ファンドは、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。</p> <p>②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	32.2	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
平均値	△4.7	6.0	10.0	9.0	1.0	1.6	2.3
最小値	△27.9	△22.0	△17.5	△26.1	△4.0	△12.3	△15.0

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東証証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



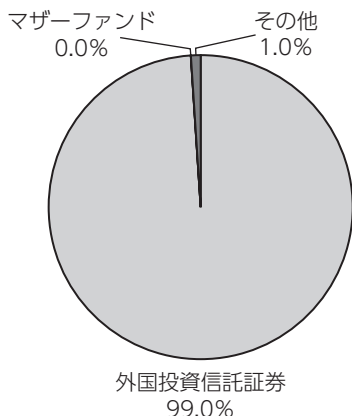
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

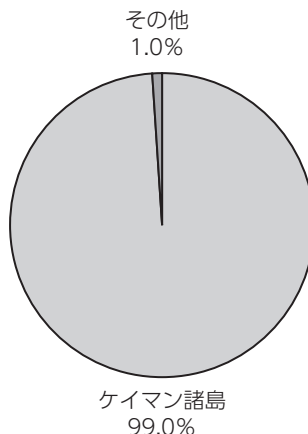
組入ファンド等

	比率
ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド (ツインαクラス)	99.0%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.0

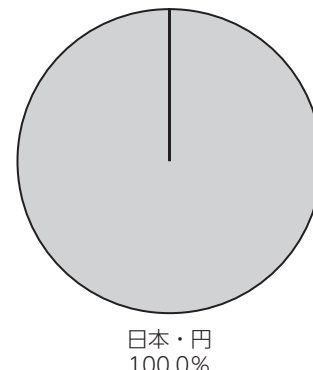
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2021年5月17日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
	2020年12月17日	2021年1月18日	2021年2月17日	2021年3月17日	2021年4月19日	2021年5月17日
純資産総額	888,927,612円	865,565,577円	832,031,313円	851,330,669円	835,888,781円	842,795,870円
受益権総口数	4,001,511,990口	3,798,799,875口	3,580,964,441口	3,534,725,563口	3,446,549,468口	3,385,118,004口
1万口当り基準価額	2,221円	2,279円	2,323円	2,408円	2,425円	2,490円

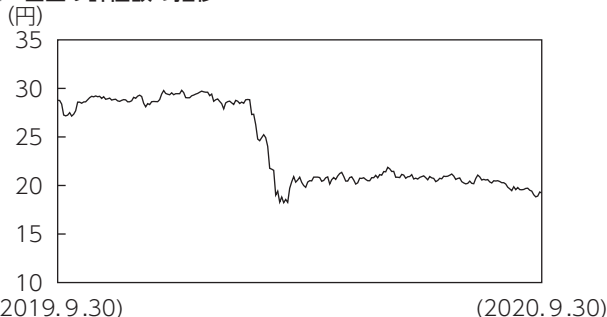
* 当作成期間 (第77期～第82期) 中における追加設定元本額は71,500,097円、同解約元本額は749,083,421円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（ツインαクラス）（作成対象期間 2019年10月1日～2020年9月30日）

■ 1口当り評価額の推移



(注) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

■ 1口当り費用の明細

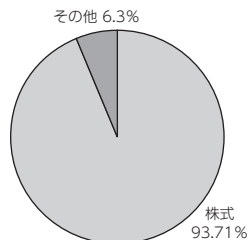
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載していません。

■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
ASTRAZENECA ORD GBP	英ポンド	9.1%
RIO TINTO PLC UK LINE	英ポンド	6.1%
BRITISH AMERICAN TOBACCO UK LINE	英ポンド	5.4%
GLAXOSMITHKLINE PLC UK LINE GBP	英ポンド	5.4%
LEGAL AND GENERAL GRP UK LINE	英ポンド	4.7%
DIAGEO PLC UK LINE	英ポンド	4.7%
HSBC HLDGS PLC UK LINE	英ポンド	4.6%
NATIONAL GRID PLC GBP	英ポンド	4.3%
RECKITT BENCKISER GROUP PLC GBP	英ポンド	4.3%
RELX PLC UK LINE GBP	英ポンド	3.9%
組入銘柄数		37銘柄（株式）

(注) 比率は償還可能な受益証券の所有者に帰属する純資産の額に対する比率。

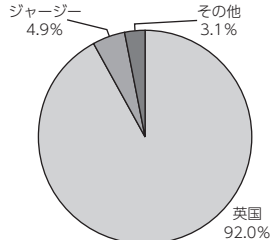
■ 資産別配分



(注1) 比率は換金可能な投資証券の所有者に帰属する純資産の額に対する比率。

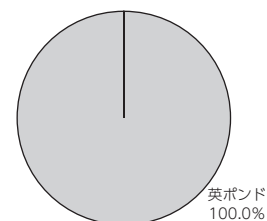
(注2) 「その他」は現預金等、その他資産から負債を差引いたものです。

■ 国別配分



(注) 比率は株式ポートフォリオ全体に対する比率です。

■ 通貨別配分

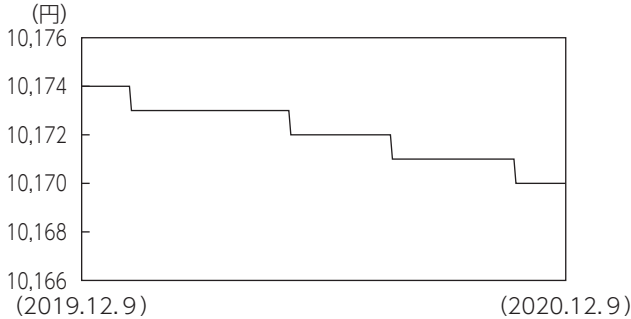


(注) 比率は株式ポートフォリオ全体に対する比率です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド (作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

■基準価額の推移



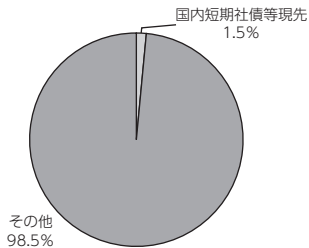
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

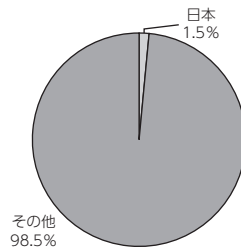
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
野村證券 (C P 現先)	1.5%
組入銘柄数	1銘柄

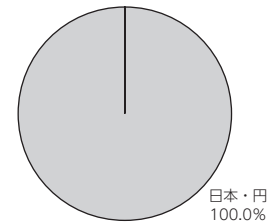
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

Memo

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management